

臨床検査室 ISO取得

磐田市立総合病院

磐田市立総合病院(鈴木昌八院長)がこのほど、臨床検査室に特化したマネジメントシステムの国際規格「ISO15189」を取得した。認定期間は4年間。ISOに沿った制度運用で、臨床検査の質や利用者満足度の向上を図る。

手順や教育で 品質管理徹底

県内では浜松医科大 附属病院(浜松市東区)や県立総合病院(静岡市葵区)などに次ぐ5番目で、市立病院では県内初。2017年5月ごろから取得への準備を進



交付された「ISO15189」の認定証(右)と院内に掲示するポスター＝磐田市大久保の市立総合病院

めた。検査の手順や情報伝達法、職員の教育などマニュアル化し、品質管理を徹底し

た。認定で検査の正確性が担保され、利用者からの信頼獲得につながるという。認定期間中は日本医師会や日本臨床衛生検査技師会など第三者による中間審査も行われる。

鈴木院長は「安心安全な検査を住民に周知していく。職員のマネジメント力を高める上でも有益」と話した。(磐田支局・駒木千尋)